

WS 3	日本の農業について考えるー食料安全保障、地球環境、日本経済、そして・・・			
	【定員】 35名      【受講料】 2年・1年会員ともに 18,530円      聴講生 20,080円			
	『政治・経済・社会』【ワークショップ】 経済      【時 間】 毎回 15時00分～17時00分      (計12回)			
概要	我が国GDPの僅か1%で就業者数も116万人で7割以上が65歳以上の高齢者。こんな農業に未来はない？ いやいや、未来がなくて良いのですか？ 農業は産業の根幹であって、国家の総合力の上に成り立つものであり、我が国の文化や風土を形成するとてもとても大事なものではないでしょうか。地球温暖化による天候不順や地政学的リスクによる自由貿易の停滞も懸念される中、我々は食いつないでいけるのか。さあ、もう一度、色んな角度から農業を勉強してみましょう。そして、日本の未来を考えていきましょう。			
回	月/日(曜)	会 場	学 習 内 容	講師名(敬称略)
1	10/ 4(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	学習ガイダンス	横浜市立大学名誉教授 金子 文夫
2	10/11(金)		「令和5年度 食料・農業・農村白書」の概要ー食料安全保障を中心として (農林水産省より講師をご派遣いただく予定です。)	
3	10/18(金)		第1章 世界の食料事情に忍び寄る危機 (前段)ーウクライナ、コロナ、輸出規制・・・	
4	10/25(金)		第1章 世界の食料事情に忍び寄る危機 (後段)ー地球温暖化、燃料、中国・・・	
5	11/ 1(金)		第2章 日本の食に起きていること (前段)ー食糧自給率・・・	
6	11/22(金)		第2章 日本の食に起きていること (後段)ー化学肥料の輸入依存、人材危機、遺伝子組み換え・・・	
7	11/29(金)		第3章 食料安全保障の実現に向けて (前段)ー2030年度の食料自給率目標45% (カロリーベース)・・・	
8	12/ 6(金)		第3章 食料安全保障の実現に向けて (後段)ー備蓄と財政負担、アジア全体で協力、英国事例・・・	
9	12/13(金)		第4章 稲作と水田という日本の強みを活かすためには ー食糧管理制度と減反、水田を守ることが食料安全保障の要・・・	
10	12/20(金)		第5章 食料安全保障を高め、地球環境を守り、地域経済を回すために (前段) ー国産野菜への切り替え、菜の花畑の復活、日本ブランド輸出・・・	
11	1/17(金)		第5章 食料安全保障を高め、地球環境を守り、地域経済を回すために (後段) ー肥料の国産化、再生可能エネルギー・・・	
12	1/24(金)		最終討論ー我が国農業の再生に向けて	
連絡 事項	①講義を受講するのではなく、テキストを基に自分たちで考え、調べ・討議しながら自主的に学習する方式です。 ②担当チームがテキストの担当部分について調査・研究した内容を発表するとともに、全員で疑問点についての質疑応答と論点の討議を行います。なお、発表資料は担当チームからメールで事前送付されますので、各自でプリントして持参願います。 ③テキストは「日本の食料安全保障」(末松広行著、2023年4月 育鵬社、1,870円)を使用しますので、各自で購入願います。また、副読本として「令和5年度 食料・農業・農村白書 (概要版)」を使用します。 □			